

レポーティング（2025 年 3 月末）

1. 資金充当状況レポーティング

【第 9 回無担保社債（第 3 回グリーンボンド）】

資金充当状況は下記の通りとなります。2025 年 3 月時点で、総調達額 11,941 百万円（発行諸費用除く）をすべて新規ファイナンスに充当済みです。

（単位：百万円）

社債発行金額	発行諸費用	総調達金額	前期充当済金額	今期充当金額
12,000	59	11,941	10,141	1,799

（単位：百万円）

適格事業区分	資金充当金額 (2024 年 4 月～2025 年 3 月)	資金充当内訳			未充当金額
		研究開発	設備投資	製造費用 /経費	
電池関連	927	216	-	711	-
次世代パワー半導体関連	194	194	-	-	
CCU/CCS および水素/アンモニア関連	595	595	-	-	
クリーンエネルギーの利活用関連	21	-	21	-	
製造プロセスの省エネ化関連	60	-	60	-	
計	1,799	1,006	81	711	

（単位：百万円）

新規ファイナンス/リファイナンス	金額	割合(%)
2023 年度充当額 対象期間：2023 年 12 月～2024 年 3 月	10,141	-
2024 年度充当額 対象期間：2024 年 4 月～2025 年 5 月	1,799	-
新規ファイナンス	10,941	100%
リファイナンス	-	-

【第 10 回無担保社債（第 4 回グリーンボンド）】

資金充当状況は下記の通りとなります。総調達額 4,970 百万円（発行諸費用除く）のうち、4,520 百万円を新規ファイナンスに 2025 年 3 月時点で充当済みです。未充当の 450 百万円については、2026 年 3 月までに充当を予定しています。

（単位：百万円）

社債発行金額	発行諸費用	総調達金額
5,000	30	4,970

（単位：百万円）

適格事業区分	資金充当金額 (2024 年 12 月～2025 年 3 月)	資金充当内訳			未充当金額
		研究開発	設備投資	製造費用 /経費	
電池関連	1,684	830	-	854	450
次世代パワー半導体関連	696	696	-	-	
CCU/CCS および水素/アンモニア関連	1,749	1,749	-	-	
クリーンエネルギーの利活用関連	303	-	303	-	
製造プロセスの省エネ化関連	85	-	85	-	
計	4,520	3,277	389	854	

（単位：百万円）

新規ファイナンス/リファイナンス	金額	割合(%)
2024 年度充当額 対象期間：2024 年 12 月～2025 年 3 月	4,520	-
新規ファイナンス	4,520	100%
リファイナンス	-	-

2. インパクトレポート

適格事業区分	主な取り組み
電池関連	- 2024 年 4 月に、開発中の亜鉛二次電池「ZNB」が KDDI 株式会社の商用基地局向けバックアップ電源の実証に採用され、運転を開始しました。ZNB は非常用蓄電池として、基地局のレジリエンス強化に利用されます。稼働中の基地局で亜鉛二次電池が運用されるのは全国初の事例となります。 - 2024 年 4 月に、ハンガリーのエンジニアリング企業 Duna Center Therm Uzemi Szolgaltato Kft.を通じて、ハンガリーの変圧器メーカーGanz Transformers and Electric Rotating Machines Ltd.から電力貯蔵用 NAS 電池を受注しました。 - 2024 年 5 月に、当社、網走市、あばしり電力株式会社の三者により組成された「あばしり新エネルギー設備導入推進コンソーシアム」の「あばしり電力株式会社 太陽光発電所設置事業」の工事が完了しました。本事業は、北海道の 2023 年度「新エネルギー設備導入支援事業」に認定されています。 - 2024 年 6 月に、BASF Stationary Energy Storage GmbH と共同開発した改良型 NAS 電池「NAS MODEL L24」を、海外市場向けに販売開始しました。 - 2024 年 6 月に、当社、株式会社リコー、大和エネルギー・インフラ株式会社は、当社と株式会社リコーが出資する合弁会社 NR-Power Lab 株式会社を通し、シェアリング機能付きハイブリッド蓄電所（StorageHub）を活用したビジネスモデルの開発を開始しました。NR-Power Lab は各社の知見・ノウハウを結集し、StorageHub の建設から運営、サービス提供までをワンストップで提供するビジネスモデルの実現を目指します。 - 2024 年 8 月に、台湾の公営電力会社である台湾電力股份有限公司の総合研究所での実証プロジェクト向けに改良型 NAS 電池を受注しました。 - 2024 年 10 月に、台湾最大のエネルギー見本市「Energy Taiwan2024」に公益国際開発股份有限公司（KUNG YIK COMPANY LIMITED）と共同出展し、改良型 NAS 電池「NAS MODEL L24」を紹介しました。 - 2024 年 12 月に、ハンガリーのエンジニアリング企業 Duna Center Therm Uzemi Szolgaltato Kft.を通じて、ハンガリーの再生可能エネルギー事業者 Greenergy Holding 向けに電力貯蔵用 NAS 電池を受注しました。
次世代パワー半導体関連	- 2024 年 6 月にドイツ・ニュルンベルクで開催された「PCIM Europe 2024」に出展し、SN-AMB/DCB 基板や SiC ウエハーなどを紹介しました。 - 2024 年 11 月に、当社のパワー半導体モジュール向けの絶縁放熱回路基板が、公益財団法人中部科学技術センターの第 23 回（令和 6 年度）顕彰の振興賞を受賞しました。 - 2025 年 1 月に、当社、産総研グループ、株式会社 AIST Solutions は、パワー半導体モジュールなどに使われる窒化ケイ素製セラミック基板の熱拡散率評価手法の検証に関する共同研究を開始しました。共同研究を通じて最先端の製品における評価手法の高度化を進めることで、高度な技術を持つ基板メーカーの製造開発を後押しし、世界的に拡大する電子デバイス関連市場での競争力向上に寄与します。

適格事業区分	主な取り組み																		
CCU/CCS および水素/アンモニア関連	- 2024 年 4 月から、三菱重工業株式会社と、水素・アンモニアサプライチェーンの導入と大量輸送の本格化を見据え、アンモニア分解ガスからの膜分離水素精製システムの共同開発を行っています。 - 2024 年 6 月に、当社の開発したダイレクト・エア・キャプチャー（Direct Air Capture：DAC）用セラミック基材が、公益財団法人地球環境産業技術研究機構（RITE）が 2025 年日本国際博覧会（以下、大阪・関西万博）で実証試験を行う DAC 装置に採用されることが決定しました。複数設置する CO2 回収ユニットの一つに使用されます。この実証試験は、国立研究開発法人新エネルギー・産業技術総合開発機構（NEDO）のムーンショット型研究開発事業にて実施されるものです。																		
クリーンエネルギーの利活用関連	- 2024 年 5 月に、当社と三菱重工業株式会社は、クリーン燃料・原料の利用拡大を見据え、バイオエタノールおよび e-メタノールの製造プロセスを低コスト・高効率化する膜分離脱水システムの共同開発を開始しました。バイオエタノール、e-メタノールともに、クリーンな燃料・原料として将来的な需要拡大が見込まれることから、システムの早期実用化と安定供給体制の構築を目指して共同で開発を推進していきます。 - 2024 年 11 月に、当社は中部圏で水素やアンモニアなどの社会実装を目指す「中部圏水素・アンモニア社会実装推進会議」と基本合意書を締結しました。中部圏水素・アンモニア社会実装推進会議は、中部圏で水素およびアンモニアの社会実装を地元自治体や経済団体が一体となって実施するために設立され、水素およびアンモニアのサプライチェーン構築や利活用の促進に向けて取り組んでいます。基本合意書締結を契機に、中部圏水素・アンモニア社会実装推進会議と各企業は、2050 年のカーボンニュートラル実現に向け、より一層相互協力を図り、取り組みを推進していきます。																		
製造プロセスの省エネ化関連	- 新規の設備投資にはインターナル・カーボンプライシング(140 ドル/トン)を継続的に適用し、高効率設備の投資を推進しております。 - 当該期間（2024 年 4 月～2025 年 3 月）に既存の設備より CO₂ の排出量を減らす新規の設備投資を行いました。 <table><tr><th>主な設備投資の内容</th><th>検収高</th><th>年間 CO₂ 排出削減量</th></tr><tr><td>小牧地区 空調用機器更新</td><td>46 百万円</td><td>▲ 17.5t/年</td></tr><tr><td>知多地区 新溶体化炉設置</td><td>34 百万円</td><td>▲ 54.0t/年</td></tr><tr><td>石川地区 廃熱ボイラー更新</td><td>19 百万円</td><td>▲ 57.0t/年</td></tr><tr><td>知多地区 冷却水ポンプ省エネ対策</td><td>18 百万円</td><td>▲ 529.0t/年</td></tr><tr><td>本社地区 集塵機・コンプレッサー更新</td><td>13 百万円</td><td>▲ 3.5t/年</td></tr></table>	主な設備投資の内容	検収高	年間 CO ₂ 排出削減量	小牧地区 空調用機器更新	46 百万円	▲ 17.5t/年	知多地区 新溶体化炉設置	34 百万円	▲ 54.0t/年	石川地区 廃熱ボイラー更新	19 百万円	▲ 57.0t/年	知多地区 冷却水ポンプ省エネ対策	18 百万円	▲ 529.0t/年	本社地区 集塵機・コンプレッサー更新	13 百万円	▲ 3.5t/年
主な設備投資の内容	検収高	年間 CO ₂ 排出削減量																	
小牧地区 空調用機器更新	46 百万円	▲ 17.5t/年																	
知多地区 新溶体化炉設置	34 百万円	▲ 54.0t/年																	
石川地区 廃熱ボイラー更新	19 百万円	▲ 57.0t/年																	
知多地区 冷却水ポンプ省エネ対策	18 百万円	▲ 529.0t/年																	
本社地区 集塵機・コンプレッサー更新	13 百万円	▲ 3.5t/年																	